

令和7年度 事業計画

基本方針

昨年、高畠町の観光は、コロナ過以降久しぶりに青竹ちょうちんまつりがフルサイズで実施されたほか、春の桜まつりや秋の歴史公園イルミネーション、冬まつり等、四季折々のイベントが開催されました。町民はもとより町外来訪者にも楽しんで頂ける取り組みによって、高畠町の満足度向上や消費喚起の一助となったと思います。

一方、亀岡文珠堂・犬猫やすらぎの郷公園や近年観光客が増加している瓜割石庭公園など、点在している観光資源を線で結び周遊できる観光としての課題が浮き彫りとなっております。そのような中、先日旅バラエティー番組で瓜割石庭公園や太陽館の温泉などが全国に紹介されました。今後、観光客増加が大いに期待されるため、周辺の整備について当局と協議を進めてまいります。

また、物産部門では、恒例となった「JR仙台駅たかはたフェア」において過去最高の売り上げを達成し、高畠産の農産物や加工食品を通して町の存在価値を向上する大きな機会となりました。更には、高輪ゲートウェイ駅・浦和駅でも新たに物産販売を行い高畠町のファンづくりを拡大する等、今後とも取り組みを加速してまいります。

現在、人口減少が進む我が町にとって観光は成長戦略の柱、地域活性化の切り札です。昨年、訪日需要の高まりや、円安等の影響に加え、増加しているインバウンド需要拡大を図る為、町・商工会・観光協会を挙げて台湾華蓮県及び台北を訪問し、誘客を含めたイベントや政府機関との懇談を行いました。これからも、観光は力強い町の成長に寄与するものと考え、来町者の増加を図ってまいります。

今後は、観光について『持続可能なあり方』で稼ぐ力をいかに高めていくかが重要であり、成長に必要な投資や働き手の処遇向上を進め、次世代に向けて観光産業全体を発展的な形で成長させていくことが重要です。当協会においても、働き方や次世代に向けた人材の確保、デジタル技術を活用した高畠町の魅力発信・観光誘客活動も必要となってきます。時代の変化が大きな波として押し寄せている今、変化に対応できる取り組みを加速させてまいります。

1. 令和7年度重点事業

(1) 『住んでよし、訪れてよし』の町づくりの推進

地域資源を活かした、高畠ならではの魅力づくりを目指し、町民の誇りと来訪者の親しみが融合した町づくりを促します。

また、美しいふるさと高畠町づくりを一層進めるため、「たかはた風景街道」事業にて、町内各地域における観光地整備事業を実施するとともに、来訪者に感動を与え、多くの方々が拡散したくなるビューポイントの整備と情報提供、「町民のおもてなしの心」の醸成ならびに観光客受入態勢のレベルアップを目指します。

(2) 東北中央自動車道、国道113号を活かした受入態勢の推進

東北中央自動車道の延伸や現在進められている高畠スマートIC（仮称）の整備が進み、交通アクセスが向上し大都市圏からの観光客が訪問しやすい環境になってまいりました。また、国道113号の改修が進み横軸となる道路も利便性が向上したため、今後、より身近で親しみがあり魅力ある観光地となるために観光資源の醸成と広報宣伝を行います。

(3) サイクルツーリズムの推進

ロードバイクの持込によるサイクリストを数多く見かけるようになり、町内外の自転車愛好家の需要に対応した事業の展開を図るため、ＪＲと連携したまほろばの緑道を起点とした「駅からサイクリング」の通年事業化やサイクルイベントの実施を通し、「サイクリングの町たかはた」を確立すべくサイクルツーリズムを推進します。

(4) ＪＲホテル・フォルクローロ高畠と連携した誘客活動の推進

ＪＲホテル・フォルクローロ高畠と連携し、県外客への情報発信を進めるとともに高畠町への誘客を図りながら、滞在客への町内観光スポット巡りモデルコースの提供などを行い滞在型観光の誘客を目指します。

(5) まほろば冬咲きぼたんまつりを契機とした花見イベント事業の推進

まほろば冬咲きぼたんまつりの牡丹や啓翁桜など、冬のお花見イベントが注目され、ＳＮＳによる画像投稿の反響が年々増加してきており、併せて、まほろば冬咲きぼたんまつりで使用した牡丹を植栽した牡丹園が充実し誘客に活用できる施設となってきたため、春のぼたん園を活用した誘客活動を進めます。

また、たかはた桜まつりの開催を通して、町内名物桜の掘り起こしや誘客宣伝に努めます。

(6) グリーンツーリズム、観光農業（体験農業等）、教育旅行受入態勢の確立

農業体験や食に関する知識、人や家族、地域とのふれあい体験を町の強みとしながら、体験学習旅行や小中高生教育旅行の誘致活動を進めます。

(7) 犬猫安らぎの郷構想プロジェクトの推進

近年のペットブームによりペットと人間が共生できる町づくりが求められる中、全国的にも珍しい「犬の宮」「猫の宮」、直木賞受賞作品「高安犬物語」そして絶滅した高安犬発祥の地などの資源を活用し観光発展、地域活性化を実現させるため推進してきた「犬猫安らぎの郷構想」については、「犬猫安らぎの里公園」事業と連携しながら事業を進めてまいります。

(8) 特色ある着地型旅行企画の開発および海外プロモーション事業の推進

昨今大幅に増加しているインバウンド旅行事業については、ＪＲ東日本様の協力を得ながら台湾旅行客を中心に誘客プロモーションをおこない、特色ある着地型体験観光メニューの開発を進め国内個人旅行はもとより、団体旅行、そして交流人口の増加による地域の産業経済の活性化に努めます。

(9) 魅力ある物産販売力の向上と観光情報発信の強化

物産推進委員会の活動を通し、売店事業強化や、各種物産販売イベントを通じた「たかはたファン」づくり、たかはたブランドを活用した交流人口の拡大など、時代に即した観光と物産の連携を模索します。

2. 継続的な取り組み

(1) 高畠らしい魅力ある受け入れ態勢の整備

- ①たかはた風景街道フォト事業の推進
- ②全町民「観光ガイド」運動の啓蒙推進
- ③広介童話の心を柱とした受入態勢の整備
- ④『まほろばの里』らしい食文化発展事業の推進と、たかはたブランド推進への協力
- ⑤文化財資源の保護と伝統行事の伝承と育成
- ⑥観光地の環境整備運動と観光案内看板等の整備促進、「まほろばの里」らしい自然の保全

(2) 誘客宣伝活動

①総合観光インフォメーション機能づくりとインターネットを活用した情報発信事業

公式ホームページに併せ、Facebook、X、InstagramなどのSNSを積極的に活用し、高畠町の旬な情報の発信を推進します。

また、ニーズの多い観光情報（トイレ、駐車場、観光地、飲食、買物、イベント、無料Wi-Fi）を提供できる総合観光インフォメーション機能を構築し、観光客の利便性を図ります。

②多様化する観光ニーズに対応する観光モデルコースの発信

気軽なサイクリングを提案する「まほろばサイクリング旅」、ぶどう狩りやそば打ち、旧高畠駅や瓜割石庭公園を巡る「たかはたレトロめぐり」など、高畠町でしか体験できない観光素材を組み合わせて、多様化する観光ニーズに対応する観光モデルコースを発信します。

③高畠らしいビュースポットの提案と新たなビュースポットの開拓

Instagramを活用した「たかはた風景街道フォト」事業を通し、旧高畠駅や瓜割石庭公園など高畠ならではの風景を四季折々に発信するとともに、フォトイベント参加者の新たな視点によるビュースポットを開拓し、さらなる観光誘客に生かします。

④仙台市、首都圏、そして高畠町と友好交流都市である横浜市栄区での観光誘客宣伝と物産販売のタイアップキャンペーンを関係団体と連携し実施します。

⑤国の有形登録文化財に指定された旧高畠駅舎をはじめとする文化遺産の利活用や整備促進の検討並びにまほろばの緑道・まほろば古の里歴史公園等の名所旧跡における観光の活性化に向けた事業を行います。

⑥旅行エージェント訪問、各種誘客イベントへの参加による誘客活動の実施

首都圏、仙台、新潟エリアからの誘客を促進するため、街なか歩きや体験観光等の企画に併せ、高畠オリジナルの旅行商品を造成し誘客に努めます。

⑦観光コンベンション事業の強化

従来の観光客だけではなく、会議やセミナー・講座等の来訪者を受け入れるコンベンション事業を、農業や商工業等の他産業と連携しながら総合的に強化推進します。

⑧フィルムコミッション事業の強化

フィルムコミッション事業を実践し、アニメ映画「好きでも嫌いなあまのじゃく」にて町内観光地がロケ地として採用されたことにあわせ、ロケ地巡り等誘客を進めます。また、すでに映像化された町内ロケ地情報を発信しロケ地誘致活動を推し進めます。

(3) 物産推進事業

①物産展開催による町物産品販路拡大と観光誘客の実施

JR仙台駅たかはたフェア、横浜市栄区民まつりなど、大都市物産イベントでは魅力ある高畠町物産品の宣伝販売を充実させるとともに、たかはたブランド認証商品の販路拡大を進めながら高畠町の観光と物産の両面から魅力を発信してまいります。

また、WEB等で新たな情報発信をし、新規会場による物産展を開催し販路拡大に努めます。

- ・JR高輪ゲートウェイマルシェ（5月31日～6月1日）
- ・JR浦和駅たかはたフェア（7月31日～8月3日）
- ・本郷台駅前まつり（9月6日～7日）
- ・JR仙台駅たかはたフェア（10月17日～19日）
- ・横浜市栄区民まつり（11月3日）

(4) 広域観光

- ①国道１１３号線観光推進協議会と連携した、みちのくおとぎ街道事業、伊達家ゆかりの地関連地域との広域観光事業を推進します。
- ②伊達家・織田家ゆかりの町としての戦国観光を推進し、伊達政宗にちなんだ事業を通し「伊達家のふるさと たかはた伊達の会」と連携しながら高畠町内への誘客拡大、歴史文化の交流拡大、地域特性を活かした広域提携商品づくりを進めます。

(5) 各種団体との連携

- ①(公社)山形県観光物産協会・やまがた観光キャンペーン推進協議会・国道１１３号観光推進協議会・県南観光推進協議会・山形おきたま観光協議会等関係団体等との連携
- ②高畠町総合観光推進協議会事業との連携
- ③浜田広介記念館・まほろば古の里歴史公園施設等、町内文化関係施設との連携強化
- ④「まほろばの里案内人」（観光ガイド）の充実と案内活動の実践
- ⑤ＪＲ各種事業への連携と協力

(6) 委員会活動

当協会の事業目的達成するため委員会を設置し、協会事業の活性化を図ります。

総務委員会

- ①会員拡大事業
 - 〇 観光協会事業の啓発を継続実施し、理解のもと協力をいただける会員の拡大を図ります。
- ②感謝のつどいの開催
 - 〇 会員各位への感謝と協会組織強化のため感謝のつどいを開催します。
- ③観光協会だよりの発行
 - 〇 事業の周知や情報発信のため観光協会だよりを発行します。
- ④理事研修の実施
 - 〇 観光協会組織強化のため理事研修を実施します。

観光振興委員会

- ①経済効果を図るために、宿泊を伴う体験型・滞在型観光事業の模索
 - 〇 ゆうきの里さんさんを起点とした体験型観光メニューの拡充を図ります。
- ②観光資源を活かした観光振興地域活性化事業
 - 〇 町内関連団体と協力し、ＳＮＳを活用し観光資源の情報発信を行います。
 - 〇 たかはた風景街道事業を実施します。
 - 〇 高畠町のライトアップ事業と協力体制を築きます。
- ③史遺跡、地域の地元組織と連携を図った美化活動
- ④町内観光資源の付加価値を模索し永続的な誘客につながる仕組み作り
 - 〇 既存の観光資源を活かしたアクティビティの模索・ＰＲを行います。
 - 〇 観光客が町内を周遊観光しながら、町民と交流できる企画を計画します。
- ⑤その他
 - 〇 まほろば冬咲きぼたんまつりにおいての企画等を行います。
 - 〇 観光振興事業への、観光協会会員の参画を仰ぐ仕組み作りを行います。

施設管理委員会

①高島町太陽館について

- 〇 施設の老朽化に伴う危険個所を確認し、修繕の必要箇所等随時施設の整備申請を続けます。
- 〇 施設利用者の利便性と安全面を考慮し、防犯カメラ増設などの整備申請を進めていきます。

②道の駅たかはたについて

- 〇 施設の老朽化に伴う危険個所を確認し、修繕の必要箇所等随時施設の整備申請を続けます。
- 〇 環境を活かした道の駅づくりを目指します。

③ゆうきの里さんさんについて

- 〇 農村地域環境を活かした施設づくりを目指します。
- 〇 施設の老朽化に伴う危険個所を確認し、修繕の必要箇所等、町との連携を図りながら随時施設の整備申請を続けます。

物産推進委員会

①売店事業の強化

- 〇 高島町太陽館売店を高島町物産販売の拠点施設と位置づけし、高島自慢の銘酒を提供するコーナーを設けるなどの販売促進、およびさらなる利便化を図ることにより駅利用者だけでなく町民にも愛される売店を目指します。

②町外を中心とした物産販売イベントへの参加および着地型旅行ツアー造成

- 〇 J R 仙台駅「たかはたフェア」や横浜市栄区民まつりなど大都市物産イベントへの参加をとおり、高島町特産品のファン拡大を目指す。
また、友好都市でもある横浜市栄区との交流による着地型旅行を開催することにより、食のたかはたファン拡大を目指す。

(8) 観光イベント事業

- | | |
|----------------------------|-------------|
| ①第38回全国ペット供養祭 | 7月26日（土） |
| ②第25回まほろば冬咲きぼたんまつり | 2月6日～8日（予定） |
| ③共催、協賛事業 | |
| ・ 駅からハイキング | 5月10日（土） |
| ・ 第59回たかはた夏まつり（青竹ちょうちんまつり） | 8月15日～16日 |
| ・ 第42回たかはた冬まつり | 1月～2月 |

3. 指定管理並びに管理受託施設事業計画

(1) 高島町太陽館

①温泉部門

- 〇 高島町のコミュニティ施設として休憩室利用を含めた、魅力あるイベントを実施するとともに、地域、関係団体との連携による活気ある「駅」づくりを目指します。

- ・ 風呂の日の実施（毎月26日）
- ・ 入浴ポイントカード事業の継続
- ・ メンズデー・レディースデーの実施（毎火・水曜日）
- ・ 子育て応援デーの実施（毎金曜日 子ども無料）
- ・ 年間イベントの実施、チラシ作成等によるイベントのPR

5月3・4日	太陽館温泉まつり
5月～10月	ミュージック LIVE（毎月第3土曜日）
8月上旬	夏の夜まつり（ビアガーデン）

10月	11日	秋の“太陽館まつり”（予定）
1月	1日～ 3日	お正月イベント
2月	6日～ 8日	まほろば冬咲きばたんまつり

②売店部門

- 〇 高畠町のお土産品の情報発信施設としての充実を図るとともに駅乗降客のニーズに応えられる商品構成の充実を図ります。
- 〇 夏冬ギフト「美味玉手箱」の充実に伴い、通年販売できるギフト販売を企画し実施します。
- 〇 活気ある売店づくりのため、農産物納入品等によるお得市を行います。

③食堂部門

- 〇 食堂経営者（株式会社りんご苑・ホテルフォルクロール高畠・（一社）高畠町観光協会）が一体となった経営努力をします。

④付帯施設利用者の拡大事業

- 〇 イベントステージを利用しコンサートやイベントを開催します。
- 〇 テニスコートの利用者拡大対策と老朽施設の再点検を行います。

(2) 道の駅たかはた

（高畠町総合観光案内施設・高畠ふるさと自然のみちウォーキングセンター）

①道の駅たかはた部門

- ・ 道の駅を管轄する国、県の行政機関、全国・東北・県の道の駅連絡会、駅長会等と連携を図り道の駅の活性化に努め、広域観光、周遊観光の推進や誘客、広域告知に努めます。
- ・ 町内の資料館や遊戯施設、文化施設、子供関連施設との連携を実施し、共同でイベント等を開催、誘客、広報活動を通じて施設活性化に努めます。
- ・ インバウンド観光への対応を強化して行きます。

〇 売店・食堂部門

- ・ レストラン、売店部門を業務委託する㈱エイコウ よねおりかんこうセンター、(有)後藤屋と連携を強化し地産地消を推進した農産物の販売や飲食メニューの拡充を図ります。
- ・ 道の駅関連団体の農産市に積極的に参加し、町内産物の販売・PRを実施していきます。
- ・ 農産物直売会「まほろば大地の会」との協力態勢の強化し年間イベントを実施します。

5月連休	子供イベント開催
6月中旬	生産者による農産物即売会
8月	おかえりなさいふるさとフェア
9月連休時	高畠町グリーン・ツーリズムネットワーク共同農産市・ブドウ市
10月	秋の収穫祭
2月	ばたんまつりへの協賛事業

②高畠町総合観光案内施設部門

- 〇 窓口での対面観光案内の充実を図ると共にインターネット等による情報発信を行います。
- 〇 置賜地区東の玄関口として置賜全域の案内を充実し、広域観光を推進していきます。
- 〇 高畠町の総合観光案内施設として魅力あるイベントを実施します。

4月～2月	館内展示会、他団体との連携による体験教室の実施
5月	おもちゃ祭り
8月	カブトムシ相撲大会
1月1日～1月3日	お正月「初詣ふるまい」

- 〇 年間を通し、町民の多岐にわたる優れた作品の展示会を開催するとともに季節や伝統文化に合わせた館内装飾を施し来館者の再訪問を促します。

③高畠町ふるさと自然のみちウォーキングセンター部門

- 〇 町外のウォーキング愛好者へ向けてコース案内を推進し利用促進と施設内設備の有効活用を図ります。

(3) ゆうきの里さんさん

(和田民俗資料館、高畠町交流促進施設及び高畠町農産物加工体験交流施設)

①高畠町交流促進施設

- 〇 ログハウス風コテージ3棟（標準型2棟、バリアフリー型1棟）を有効に活用し、高畠町滞在観光の拠点施設となるよう、町外・県外に向けたPR活動を行います。また、施設の維持管理修繕に努め、建物・サービス共に利用者の満足度の高い施設にしていきます。

②高畠町和田民俗資料館

- 〇 伝統家屋を改修した研修・集会施設「楽集館」をグリーンツーリズムならびに観光農業（体験農業等）の拠点として活用していくと共に、催事・団らんのか場としての活用についてもPRしていきます。

③高畠町農産物加工体験交流施設

- 〇 地場農産物を活用し、そば打ち、味噌づくりなど地域特産の農産物加工体験を行い、高畠町のグリーンツーリズムをPR・推進して行きます。

④施設周知、利用者増加のためのイベントの実施

- 〇 10月中旬(予定) ゆうきの里さんさんまつりを実施します。

(4) 町公式マスコットキャラクターPR活動業務

本町の魅力をPRするためのシンボルとして制作された高畠町公式マスコットキャラクター「たかつき」「はたつき」を活用し、イベント等を通し町の観光、物産の振興に努めます。